

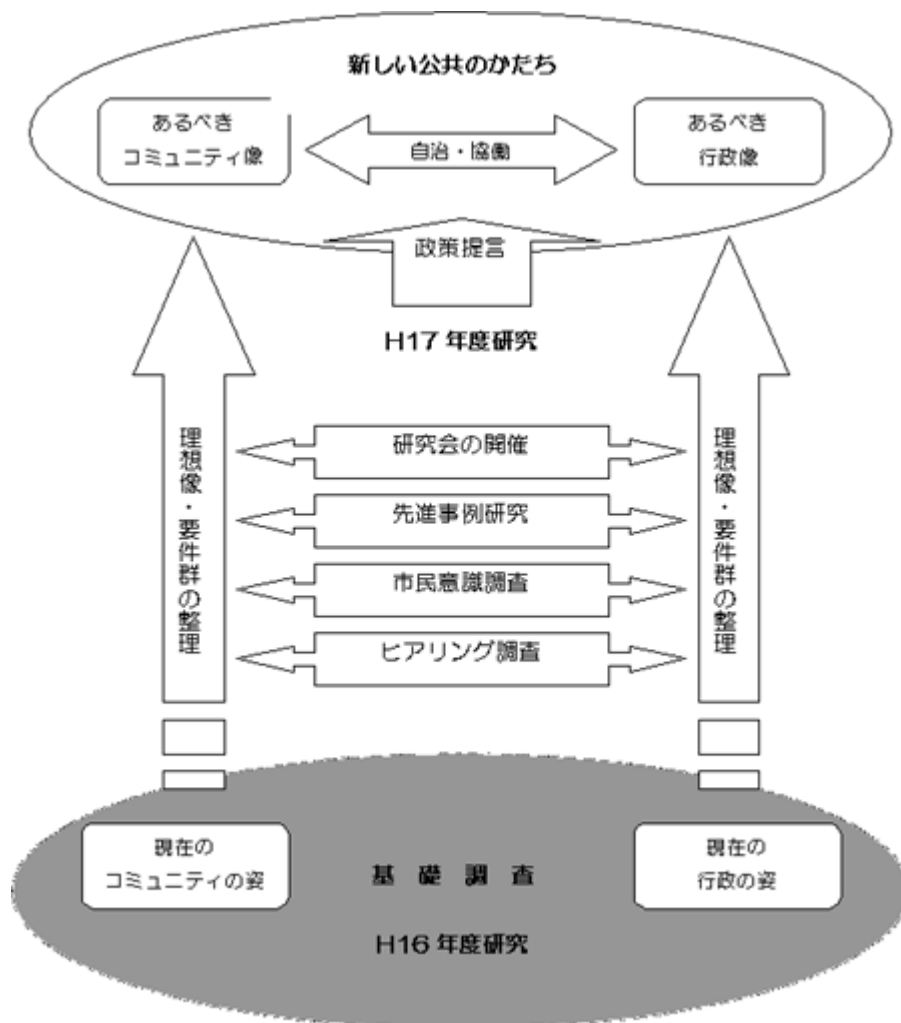
平成 16（2004）年度 調査研究報告

「地域コミュニティ構築に向けた基礎調査」 — 先行事例研究と豊中市の地域資本調査 —

時代の流れとともに地域社会は変容し、いまやコミュニティはその根幹とも言える「地域住民の命を守る」ことさえもできなくなってきた。

地域社会は無関心や過度の行政依存から脱却し、住民主体の地域運営をどう進めていくのか。また、行政は縦割り、たこつぼを打破するとともに、真の協働を進める組織改革や行政施策をどう展開していくのか。本研究の最終目的は直面するこれらの課題を整理し、理想的な「公共」のフレームワークを提言することである。

初年度となる今年度は地域の資本（活動主体・施設）や行政施策を整理することで、豊中市のコミュニティの現状を把握するとともに、先進事例の研究を行い、現在のコミュニティ行政のトレンドを概観し、その課題をまとめた。



目 次

第1章 序論

- 1-1 はじめに
- 1-2 背景と問題意識
- 1-3 研究に対する考え方
- 1-4 研究体制

第2章 地域コミュニティを巡る自治体の動き

- 2-1 本章の概要
- 2-2 自治体シンクタンクによる研究
- 2-3 自治体シンクタンクによる研究(資料編)
- 2-4 自治体の主なコミュニティ施策について

第3章 豊中市の地域コミュニティ資本

- 3-1 本章の概要
- 3-2 豊中市の地域資本調査(人的資本編)
- 3-3 豊中市の地域資本調査(公共施設編)

第4章 豊中市におけるコミュニティ関連施策

- 4-1 本章の概要
- 4-2 豊中市の地域コミュニティ施策

第5章 次年度研究に向けて

- 5-1 今年度の気付き
- 5-2 来年度研究計画
- 5-3 おわりに

(白岩)